

館第一排水区 雨水処理施設改修・更新事業計画（志木市）

志木市上下水道部下水道施設課

策定 令和 4 年 11 月

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
選定理由	館地区は、志木市の北西に位置し柳瀬川が近接し、低地であることから雨水処理施設（館第一排水ポンプ場）で排水処理している。排水対象面積は220.78ha（新座市雨水排水面積含む）であり、館地区の浸水被害を防止する事業計画にも定められている重要な施設であるが、供用開始から43年経過（令和4年現在）しており老朽化が進行している。雨水処理施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、計画的な改修等を実施する必要がある。 そのためストックマネジメント計画に基づき、令和5年から令和9年にかけて事業を行う。			
整備目標	①本計画における対象降雨 ・本計画における対象降雨：50mm/hr ・目標とする理由：志木市で計画している1/5確率（5年確率） ②目標設定 - i)生命の保護の観点：特になし - ii)都市機能の確保の観点：道路冠水を防止 - iii)個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止 - iv)その他：ポンプ設備の故障率の低減 ③ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について - i)ハード対策 - 改修・更新により50mm/hの降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 - ii)ソフト対策及び自助 - 内水ハザードマップ公表などの情報提供、防災訓練の実施、土のう設置、雨水抑制の啓発など、それぞれの主体が対策を実施することによる、被害の軽減を図る。			
内水ハザードマップ策定状況	有（平成26年10月策定済み） ・策定予定			
事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ポンプ及び操作盤等の改修・更新（館第一排水ポンプ場） ・館第一排水ポンプ場施設の止水扉の設置
		ソフト対策	下水道管理者	・内水ハザードマップの公表 ・排水施設の点検及び清掃
			下水道管理者以外	・開発要綱に基づく雨水流出抑制の指導（宅地等の開発及び中高層建築物の建築に関する指導要綱）（志木市道路課）
	自助	ハード対策		・土のうBOXの設置（志木市防災危機管理課）
		ソフト対策		・防災訓練の実施（志木市防災危機管理課）

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記載
また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

年度計画（百万円）

名称	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
館第一排水 ポンプ場	46	450	340	424	504	1,764

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<事業評価の内容> 設置から42年が経過している館第一排水区の雨水処理施設について、雨水排水機能を適切に確保する。（12m³/秒、1/5対応） ソフト対策、自助の整備効果等： 雨水抑制による流出量の軽減。 防災訓練及び土のうの活用による人的被害の軽減。
放流先河川との調整状況	本事業は、放流先河川の許容放流量に基づいたポンプ施設の改修・更新を行うものであるため、放流先河川との整合は図れている。
その他	特になし